

第 25 章 数列の極限 (数 3, 4 講分)

A 問題

25-A-1 F441A

一般項 a_n が次の式で表される数列 $\{a_n\}$ の極限を調べよ.

(1) $a_n = 3n^2 - 2n^3$

(2) $a_n = \frac{3n^2 + 5n + 2}{n^2 + 3n + 2}$

(3) $a_n = \frac{3n - 4}{n^2 + 1}$

25-A-2 F442A

次の極限值を求めよ.

(1) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{5n}{\sqrt{n^2 + 3n} + n}$

(2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\sqrt{n+7} - \sqrt{n+3}}{\sqrt{n+2} - \sqrt{n}}$

(3) $\lim_{n \rightarrow \infty} (\sqrt{9n^2 + 4n} - 3n)$

25-A-3 F443A

次の極限值を求めよ.

(1) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(-1)^n}{n}$

(2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sin n\theta$

25-A-4 F449A

次の極限を求めよ.

(1) $\lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{7}{8}\right)^n$

(2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(-2)^n + 2 \cdot 5^n}{5^n + 2^{n+1}}$

(3) $\lim_{n \rightarrow \infty} \{(-2)^n - 3^n\}$

25-A-5 F450A

数列 $\{a_n\}$ が,

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{1}{3}a_n + 1 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たすとき, 一般項 a_n を求め, $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ.

25-A-6 F451A

数列 $\left\{ \left(\frac{x^2 - 2x - 7}{x^2 - x + 2} \right)^n \right\}$ が収束するような実数 x の値の範囲を求めよ.

25-A-7 F457A

次の無限級数の和を求めよ.

$$(1) \frac{1}{1 \cdot 2} + \frac{1}{2 \cdot 3} + \frac{1}{3 \cdot 4} + \cdots + \frac{1}{n(n+1)} + \cdots$$

$$(2) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{4n^2 - 1}$$

25-A-8 F458A

次の問に答えよ.

$$(1) \text{正の実数 } x \text{ に対して, 不等式 } \frac{1}{\sqrt{x+1} + \sqrt{x}} < \frac{1}{\sqrt{x}} \text{ が成り立つことを示せ.}$$

$$(2) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{\sqrt{n}} \text{ が発散することを示せ.}$$

25-A-9 F459A

次の無限級数の収束・発散を調べ, 収束するものはその和を求めよ.

$$(1) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{2}{n(n+1)(n+2)}$$

$$(2) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{n}{(n+1)!}$$

$$(3) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{n}{3n+1}$$

25-A-10 F465A

次の極限値を求めよ.

$$(1) \sum_{n=1}^{\infty} 5 \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1}$$

$$(2) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{3^n - (-2)^n}{5^n}$$

25-A-11 F466A

(1) 循環小数 $0.\dot{1}2\dot{3}$ は,

$$0.\dot{1}2\dot{3} = 0.123 + 0.123 \times \frac{1}{10^3} + 0.123 \times \frac{1}{10^6} + \cdots$$

と表すことができる. このことを用いて, 循環小数 $0.\dot{1}2\dot{3}$ を既約分数の形で表せ.

(2) 循環小数 $1.2\dot{3}\dot{4}$ を既約分数の形で表せ.

25-A-12 F467A

無限等比級数 $\sum_{n=1}^{\infty} x(2-x)^{n-1}$ が収束するような実数 x の値の範囲を求めよ. また, そのときの和を求めよ.

B問題**25-B-1** F444B

次の極限値を求めよ.

- (1) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1 + 2 + 3 + \cdots + n}{n^2}$
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(n+1)^2 + (n+2)^2 + (n+3)^2 + \cdots + (3n)^2}{1^2 + 2^2 + 3^2 + \cdots + n^2}$
- (3) $\lim_{n \rightarrow \infty} \left(\sqrt{n^2 - \left[\frac{n}{2} \right]} - n \right)$ ただし, $[x]$ は実数 x を越えない最大の整数を表すものとする.

25-B-2 F445B

n は自然数とする. 不等式 $|x| + |y| \leq n$ で表される領域に含まれ, x 座標, y 座標がともに整数である点の個数を a_n とする. 極限値 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{n^2}$ を求めよ.

25-B-3 F446B

一般項 a_n が $a_n = \sqrt{(n-1)(4n-1)} + cn$ と表される数列 $\{a_n\}$ が収束するような定数 c の値を求めよ. また, 極限値 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ.

25-B-4 F452B

数列 $\{a_n\}$ が $a_1 = 8$, $a_{n+1} = \frac{3a_n + 4}{a_n + 3}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を満たすとする.

- (1) $b_n = \frac{1}{a_n - 2}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) とするとき, b_{n+1} を b_n を用いて表せ.
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ.

25-B-5 F453B

関数 $f(x) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{x^{2n-1} + x^2 + x}{x^{2n} + 1}$ とするとき, $y = f(x)$ のグラフをかけ.

25-B-6 F454B

数列 $\{a_n\}$ が $0 < a_1 < 3$, $a_{n+1} = 1 + \sqrt{1 + a_n}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を満たすとする.

- (1) すべての自然数 n に対して, $0 < a_n < 3$ が成り立つことを示せ.
- (2) すべての自然数 n に対して, $3 - a_{n+1} < \frac{1}{3}(3 - a_n)$ が成り立つことを示せ.
- (3) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ.

25-B-7 F460B

(1) 等式

$$\frac{1}{n(n+1)(n+3)} = \frac{a}{n} + \frac{b}{n+1} + \frac{c}{n+3}$$

が n についての恒等式となるような定数 a, b, c の値を求めよ.

(2) 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n(n+1)(n+3)}$ の収束・発散を調べ, 収束すればその和を求めよ.

25-B-8 F461B

k, n は自然数とする.

(1) 不等式 $\sqrt{k} + \sqrt{k-1} < 2\sqrt{k} < \sqrt{k+1} + \sqrt{k}$ を用いて, 不等式

$$\sqrt{k+1} - \sqrt{k} < \frac{1}{2\sqrt{k}} < \sqrt{k} - \sqrt{k-1}$$

が成り立つことを示せ.

(2) 不等式 $\sqrt{n+1} - 1 < \sum_{k=1}^n \frac{1}{2\sqrt{k}} < \sqrt{n}$ が成り立つことを示せ.

(3) 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{1}{\sqrt{kn}}$ を求めよ.

25-B-9 F462B

$|r| < 1$ のとき, $\lim_{n \rightarrow \infty} nr^n = 0$ が成り立つ. このことを利用して, 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} n \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$ の和を求めよ.

25-B-10 F468B

第 2 項が 3 である無限等比級数が収束し, その和が -4 であるとき, 初項と公比を求めよ.

25-B-11 F469B

無限に続く正方形の列 $T_1, T_2, T_3, \dots, T_n, \dots$ があり, T_{n+1} は T_n に内接し, T_{n+1} の各頂点は T_n の各辺を $1:2$ に内分している.

T_1 の一辺の長さが 1 のとき, すべての正方形の面積の和を求めよ.

25-B-12 F470B

n は自然数とする.

(1) 不等式 $n! \geq 2^{n-1}$ が成り立つことを示せ.

(2) 不等式 $1 + \frac{1}{1!} + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \dots + \frac{1}{n!} < 3$ が成り立つことを示せ.

C問題**25-C-1** F447C

数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$, $\{c_n\}$ について, 次の事柄は正しいか. 正しくないものは, その反例をあげよ. ただし, α , β は定数とする.

- (1) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \infty$, $\lim_{n \rightarrow \infty} b_n = 0$ ならば, $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n b_n = 0$ である.
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \alpha$, $\lim_{n \rightarrow \infty} b_n = \beta$ ならば, $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{b_n} = \frac{\alpha}{\beta}$ である.
- (3) $b_n < a_n < c_n$, $\lim_{n \rightarrow \infty} (c_n - b_n) = 0$ ならば, 数列 $\{a_n\}$ は収束する.
- (4) $\lim_{n \rightarrow \infty} (a_n - b_n) = 0$, $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \alpha$ ならば, $\lim_{n \rightarrow \infty} b_n = \alpha$ である.

25-C-2 F448C

n を正の整数とし, 放物線 $y = n - x^2$ と x 軸で囲まれる領域 D を考える. D に含まれ, x , y の値がともに整数である点の個数を $a(n)$ とする.

- (1) \sqrt{n} を越えない最大の整数を k とする. $a(n)$ を k と n の多項式で表せ.
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a(n)}{\sqrt{n^3}}$ を求めよ.

25-C-3 F455C

- (1) $h > 0$ のとき, すべての自然数 n に対して, $(1+h)^n \geq 1 + nh + \frac{1}{2}n(n-1)h^2$ が成り立つことを示せ.
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n}{3^n}$ を求めよ.

25-C-4 F456C

放物線 $y = x^2 - 2$ 上の点 $(x_n, x_n^2 - 2)$ における接線と x 軸との交点の x 座標を x_{n+1} とする. このようにして, x_1 から順に x_2, x_3, x_4, \dots を作る. ただし, $x_1 > \sqrt{2}$ とする.

- (1) すべての自然数 n に対して, $\sqrt{2} < x_{n+1} < x_n$ が成り立つことを示せ.
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} x_n$ を求めよ.

25-C-5 Fチャレ 57 2003 大阪市立大学

p, q は正の有理数で, \sqrt{q} は無理数であるとする. 自然数 n に対して, 有理数 a_n, b_n を $(p + \sqrt{q})^n = a_n + b_n\sqrt{q}$ によって定める.

- (1) $(p - \sqrt{q})^n = a_n - b_n\sqrt{q}$ を示せ.
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{b_n} = \sqrt{q}$ を示せ.

25-C-6 F463C

$\sum_{n=1}^{\infty} a_n = 1, \lim_{n \rightarrow \infty} na_n = 0$ ならば, $\sum_{n=1}^{\infty} n(a_n - a_{n+1}) = 1$ であることを証明せよ.

25-C-7 F464C

n を 2 以上の整数とし, 周囲の長さが 2 の正 $2n$ 角形 K と, K の 1 つの頂点 P を考える.

- (1) K と同じ平面上で, P を一端とする長さ 1 の棒を K の内部を通らないようにして動かす. 棒が通ることができる点全体からなる図形の面積を求めよ.
- (2) K と同じ平面上で, P を一端とする長さ 1 のひもを K の内部を通らないようにして動かす. ひもが通過し得る領域の面積を S_n として, 極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$ を求めよ.

25-C-8 F471C

極限值 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{7^n} \cos \frac{2}{3} n\pi$ を求めよ.

25-C-9 F472C

(1) n 桁の自然数のうち、各位の数字がすべて 1 と異なるものの個数を求めよ.

(2) 自然数の逆数からなる級数

$$1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \cdots + \frac{1}{m} + \cdots$$

から、分母に数字 1 が現れる項をすべて除いて得られる級数

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5} + \frac{1}{6} + \frac{1}{7} + \frac{1}{8} + \frac{1}{9} + \frac{1}{20} + \frac{1}{22} + \frac{1}{23} + \cdots$$

の和は 40 を越えないことを示せ.

演習問題**25-E-1**

数列 $\{a_n\}$ が $\lim_{n \rightarrow \infty} (3n - 1)a_n = -6$ を満たすとする.

- (1) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$ であることを示せ.
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} na_n$ を求めよ.

25-E-2

数列 $\{a_n\}$ が,

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \sqrt{a_n + 2} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

によって定められるとき, $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ.

25-E-3

数列 $\{a_n\}$ が $a_1 = 2, a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + \frac{1}{a_n}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を満たすとする.

- (1) すべての自然数 n に対して, $a_n \geq \sqrt{2}$ が成り立つことを示せ.
- (2) すべての自然数 n に対して, $a_{n+1} - \sqrt{2} \leq \frac{1}{2}(a_n - \sqrt{2})$ が成り立つことを示せ.
- (3) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ.

25-E-4

$n = 1, 2, 3, \dots$ に対して, $a_n = \frac{n+2}{n(n+1) \cdot 2^n}$ とする.

- (1) $2^n a_n = \frac{b}{n} + \frac{c}{n+1}$ を満たす定数 b, c の値を求めよ.
- (2) 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$ を求めよ.

25-E-5

三角形 ABC において、 $AB = 3$, $BC = 4$, $CA = 3$ であり、円 O_1 は 3 辺に接する円、円 O_2 は辺 AB, AC に接し、かつ円 O_1 に外接する円で、以下同様にして、円 O_3, O_4, \dots, O_n を作る。ただし、 $(O_{n+1} \text{ の半径}) < (O_n \text{ の半径})$ とする。

$n \rightarrow \infty$ のとき、円 $O_1, O_2, O_3, \dots, O_n$ の面積の総和を求めよ。

25-E-6

2 つの数列 $\{a_n\}$ および $\{b_n\}$ はともに正の無限大に発散し、どの項も 0 でないとする。

数列 $\{a_n - b_n\}$ が α に収束するとき、2 つの数列 $\left\{ \frac{b_n}{a_n} \right\}$ および $\left\{ \frac{a_n^2}{b_n} - \frac{b_n^2}{a_n} \right\}$ の極限を求めよ。

25-E-7

2 つの無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n, \sum_{n=1}^{\infty} na_n$ がいずれも収束し、その和はそれぞれ A, B であるとする。

また、 $\lim_{n \rightarrow \infty} n^2 a_n = 0$ とする。このとき、 $\sum_{n=1}^{\infty} (n+1)^2 (a_n - a_{n+1})$ が収束することを示し、その

和を A, B, a_1 を用いて示せ。

